

Volume 217
2016.5.6
TAKE FREE

楽しくなる、予感。

虹の旗

NIJI no HATA
PRESENTED BY
KYOTO INSTITUTE OF
TECHNOLOGY
COOP STUDENT COMMITTEE
PUBLIC RELATIONS DEPARTMENT

特集

心の食堂

● お食事処 菜彩

● お食事処 こにし

● 南欧食堂 USHIMAKETA

● コーヒーと定食 つばめ



こんな近くに、
こんな素敵な食堂が。

Cafeteria
ORTUS
オルタス

KIT HOUSE 1F 平日 8:15-20:30
土曜 11:30-14:00

[にじのはた] 5,6月号
2016年5月9日発行 通巻第217号 ■制作／京都工芸繊維大学生協学生委員会広報局 ■発行／京都工芸繊維大学生活協同組合理事会 住所：〒606-0962 京都市左京区松ヶ崎御所海道町 電話：075-781-5359 ■印刷／株式会社きかんしゃ



心に染まる
やさしいあの味

虹の旗
Vol. 217
2016.5.6

CONTENTS

特集

心の食堂

02 INTRODUCTION

03 RESTAURANT

11 MAP

RESTAURANT



特集

心の食堂

P3 | お食事処 菜彩

P5 | お食事処 こにし

P7 | 南欧食堂 USHIMAKETA

P9 | コーヒーと食堂 つばめ

美味しいで健康的で文化的な食事をすることは、もはや私たちがより良い大学生活を送るための必要条件なのだが、幸運なことに大学周辺には私たちにそれを提供してくれるお店、いわば私たちの「心の食堂」が存在する。今号特集では、大学生活をより充実したものにするため私たちが利用すべき「心の食堂」4店舗を紹介する。

〒606-0967 京都府京都市左京区松ヶ崎堀町15

Tel 075-701-7777

11:30-14:00 (火~土のみ)、17:30-22:00 月曜定休

お食事処

菜彩

蔵の中の心地よい空間。

工織大に通い始めて2年目の私だが、大学周辺にはまだ知らないお店が存在する。今回お邪魔した菜彩もその一つだった。

学校の正門を出てまっすぐ歩いていくと、住宅街の中にまっしろな蔵がある。店の入り口にはいろんな小物や植物が所狭しと置かれていて、まるで祖父母の家に遊びに来たかのようだ。店内には美大出身の店長が描いた絵や奥さんが作った陶芸が飾られており、おしゃれながらも落ち着いた雰囲気だ。

ランチメニューは5種類のおかずから好きなものを一つ選べるということで、ロールキャベツ定食を注文する。程なくして出てきた定食は、ロールキャベツが箸で簡単に切れるほど驚きの柔らかさ。食べると、懐かしくて優しい味がする。店長いわく全

て国産牛を使用しているとのこと。味を染み込ませるために数日間煮ているのだとか。

食後のコーヒーを飲みながら店長と奥さんと語らう。二人ともとても気さくで、接客中もよくお客様と喋りますと笑った。常連客も多く、中には年に一回、半年に一回というペースで長年に渡り店を訪ねてくれる方もいるそうで、25年間お店を経営する中ではそんな人たちに助けられたこともあったという。継続してお店を利用してもらえるような、人と人との繋がりを大切にしていると店長は語る。これからは健康に気をつけて長く続けていきたいとのこと。店を出ると屋下がりの風が心地よい。また何度も来たくなる店、菜彩。あなたも一度訪れてみてはいかがだろうか。

MENU

お昼ご飯セット(コーヒー・紅茶付き)

- ・鯖塩焼きセット
- ・鯖味噌煮セット
- ・ハンバーグセット
- ・ロールキャベツセット
- ・日替わりセット

…850円

菜彩御前 …1800円



入り口では奥さんが作った猫の置物がお出迎えしてくれる(左上段)。掘りごたつの食事席では、楽な体勢で時間を過ごすことができる。ランチメニューは全て人気だが、学生には特にハンバーグが人気のこと。



〒606-0967 京都府京都市左京区松ヶ崎小竹藪町 28-17

Tel 781-4758

11:00-14:00, 17:00-20:00 日曜定休

お食事処

こにし

工織大と共にある食堂。

東キャンパスの直ぐ隣、静かな住宅地の中にお店を構える、お食事処こにし。数冊の少年誌が並んだ本棚や、壁に掛けられたメニュー表が見える店内の雰囲気は、さながら私たちの記憶に根ざした定食屋が具現化したかのようで、安らぎとともに、どこか懐かしいような気持ちすら覚えるかもしれない。正門から徒歩3分と大学から非常に近いということもあり、昔から多くの学生に利用されている。お店の特徴である定食の数々は、学生を意識した良心的な値段とボリュームにより、部活帰りの運動部員などを中心に愛されている。

1996年の開店以来、経営は常に順調という訳では無かったという。大学の近くにコンビニが新しく出来てからは、客足をそちらに取られることもあった。また、一乗寺などにも飲食店は多く立ち並び、競合店

は多かったという。それでも学生が気軽に利用できるようにと、定食の値段を上げることはほとんど無かった。今なお昔と変わらない味を、変わらない値段で提供し続けているのは、お店を始めてからの20年間、2人でお店を支え続けた店主夫妻の尽力あってのことだろう。

取材の中で、お二人は幾度となく学生への感謝の気持ちを口にした。大学生という代謝の激しいコミュニティの中で長く利用されているのは、先輩から後輩へと、お店の存在を脈々と口コミで語り継いでくれたおかげであるという。そして、今後も変わらないサービスを提供し続けていくことが目標であると語った。開店以来、その歴史を工織大生と共に歩んできたお食事処こにしは、これからも私たちの近くにあり続ける。

MENU

コロッケ定食	…600円
煮込みハンバーグ定食	…600円
野菜炒め定食	…700円
豚生姜焼き定食	…700円
さば味噌煮定食	…700円
鶏肉チリソース定食	…750円
きつねうどん・そば	…350円
鍋焼きうどん・そば	…800円
天丼	…500円
カレー丼	…500円
すき焼き丼	…750円
角煮丼	…800円
カレーライス	…600円
	他



穏やかな空気が流れる店内は、忙しい大学生活の休憩場所に最適。柔らかい鶏肉とチリソースの味わいが魅力の鶏肉チリソース定食は、ご主人のおすすめのメニューの1つ。豊富な種類の定食の他に、丼物や、麺類も楽しむことができる。



〒606-0905 京都府京都市左京区松ヶ崎杉ヶ海道町 1-4

Tel 075-722-8499

11:30-14:00 (月～金のみ), 17:00-22:00

南欧食堂

USHIMAKETA

アットホームな洋食屋さん

大学の西キャンパスから南西門を出てすぐの場所に位置する少し変わった名前の食堂、USHIMAKETA(うしまけた)。赤色の看板と扉が目印だ。カントリーテイストな家具や雑貨が配置された店内は家庭的で落ち着いた雰囲気。ゆったりとした時間の中、実験や課題に追われる日常をしばし忘れてほっと一息つくことができる。

お料理はスペaghettiやドリアなどが中心で、普段は食べられないおしゃれな洋食が楽しめる。かわいらしいお店の雰囲気だが、ランチメニューはリーズナブルかつボリュームがあって、食べ盛りの大学生にも嬉しい内容だ。日替わりランチセットに付属のご飯は体に優しい五分付き米。「よく噛んで食べてね」という奥さんのさりげない一言に温かい心づかいを感じる。平日夜にも、学生にはごはん・スペaghettiの大盛り

やシャーベット、スープなどから選べる特典がついたり、ボリュームセットがあったりとお得なサービスが展開されており、授業終わりの夜ごはんにもおすすめである。

ご主人がこの地にお店を構えてから今年でちょうど20年。平日には工織大の学生・教職員や左京区総合庁舎で働く人々、休日には近隣の家族連れが訪れる、地元の人々に愛される食堂だ。大学の隣だが、灯台下暗で今まで知らなかったという工織生にはぜひ一度ランチに訪れてほしいとご主人は語る。また、夜にはお店を貸し切ってパーティーをすることができ、ゼミやサークルでの利用にうってつけだ。

さて、少し変わった店名の意味、料理を食べ終えたらきっと分かるはず。

「うし(うま)だけた(かった)!」

MENU

<ランチ>

日替わりランチ	…700円
週替わりスパゲティ	…700円
週替わりドリアランチ	…730円
ハンバーグランチ	…750円
唐揚げランチ	…750円
コロッケランチ	…700円

<ディナー>

スペaghettiセット	…780円
ビーフドリアセット	…780円
粗焼きハンバーグセット	…880円
ミックスグリルセット	…1130円

他



日替わりランチには、日替わりのメイン料理にお惣菜、ミニサラダ、味噌汁、ご飯、漬物がついてくる。8種類あるスパゲティの中でも特に人気が高いのは、なすとベーコンとトマトソース。こちらもミニサラダ、ポテトサラダ、パンがセット。



〒606-8184 京都府京都市左京区一乗寺拵殿町30-2

Tel 075-723-9352

11:30-20:00 月曜定休

コーヒーと定食

つばめ

バランス◎の家庭的定食。

ラーメン激戦区として知られる一乗寺だが、他にも様々な飲食店やカフェが立ち並ぶ。その中の1店であるつばめは、子供から年配の方まで、幅広い年齢層に愛されている人気のカフェ。有名なセレクト本屋である恵文社から徒歩約5分のところにあり、お客様の中には恵文社に寄ってからきたという人も多いという。通りに面した大きな窓から太陽の柔らかい光が差し込む店内は、その静かさも相まってコーヒーを片手に読書に洒落込みたくなるような雰囲気がある。

オオヤコーヒー焙煎所によりセレクトされるコーヒーは、一ヶ月単位で豆の種類が変わるために、様々な特徴を持ったコーヒーを飽きることなく楽しむことができる。デザートメニューも豊富で、特に人気なのはチーズケーキだそうだ。

人気のメニューは、バランス抜群の日替わりランチ。一汁三菜の、まさに家庭のご飯と言った感じの定食で、旬の野菜を使ったおかずや、香り豊かな雑穀ご飯を楽しむことができる。カフェでの食事には、お腹を満たすこと以上に、心を満たすという意味が込められているのかもしれない。つばめの定食もまた、丁寧に調理された料理に私たちには無意識のうちに普段より噛む回数が多くなり、完食後には量以上の満足感、幸福感に包まれるだろう。いつもより少し文化的な食事を終え、店を出た時、いつもより少し文化的な午後は始まるのだ。

つばめは今年5月に現在の店舗を移転するが、新店舗も一乗寺に出来るそうなので、これからも私たちの憩いのカフェであり続けるだろう。(新店舗は7月オープン予定。)

<u>MENU</u>	
今日の定食	…850円
コーヒー	…400円
紅茶	…400円
カフェオレ	…450円
自家製梅ジュース	…400円
チーズケーキ	…450円
スコーン	…450円
自家製バニラアイス	…450円
りんごと	
ラムレーズンのパフェ	…700円
りんごのコンポート	…450円
他	



ホットコーヒーとチーズケーキ 750円



店内を包む穏やかな雰囲気は、家具や、棚に並べられた食器の一枚一枚からも感じられる。人気のチーズケーキは、優しい口当たりが特徴的。デザートはコーヒーや紅茶などのドリンクメニューと一緒に頼むと100円引き。



今日の定食 850円

この大学に通っている限り私たちは皆、松ヶ崎や一乗寺といった大学周辺の街を自分の庭とする権利を持っている。今回取り上げた4店舗はいずれも多くの工織大生が通う人気のお店だが、他にも多くの食堂がこの街に店を構えている。

自分の心は、自分のみ知るだろう。大学の周辺を歩き、自分にとっての「心の食堂」を見つけよう。

